



本家は洋風の家に住む、明るい色味の自然塗料を木材に取り入れることで、垢抜けたナチュラルテイストの和空間に仕上げた。また、吹き抜けに窓を取り入れ、採光と風の流れを確保。冬が寒い吹き抜けのデメリットを、24時間暖房ヒーターが解消!



「庭を生かす住まい」が完成。Nさんと夫妻も自ら家づくりに参加し、思入れもひとしわだ



扉にアンティーク風のステンドグラスを組み合わせ、空間に彩りを添えている。照明も「ハウスランド社」のおすすめのアイテム



favorite!  
わが家のここが  
お気に入り!



床は浮造りの檜指板を、壁は西洋漆を採用。一面ブラケットを取り入れ、空間にメリハリを添え、奥行きを演出



和室には床の間と狩り差を設け、さらに奥に防戸兼水屋も併設しているところがN邸ならではのこだわり。取っ手を開ける造りにしている



キッチンに機能的な造作棚を設置し、テラコッタ風のタイルを取り入れて、リビング空間と馴染むように洋風のテイストをプラスした

Company Profile

株式会社 ハウスランド社

福岡県筑紫野市大字吉木344-1  
TEL 092-922-9771  
http://www.hv-land.jp

●詳しい情報はPODに掲載



叔母さまが大事に育てている庭木を眺め、日向ぼっこしたり、ほっと一息つく時間が増えた

ろ「せめてリビングだけでも」三上代表が背中を押してくれたことが、実際に住み心地を大きく高めるポイントに。「三上さんというへの提案ではなく、長い目を見て、本当にいいことを薦めてくれる実直な方です。」と主人は語る。毎日叔母さまの茶道と華道の作法を近くで眺める主人は、「ゆくゆくは私も書道を始めたくて」と将来を思い描く。祖母の代から長く受け継いできた真髓を、Nさん夫妻らしく大切に、ゆくり守り続けていくのだろう。

また素材選びであれこれ悩んだ時も、三上代表が的確なアドバイスをビシッと決めてくれた。例えば、「小回りの浮造りの床」を費用の兼ね合いで諦めかけていたこと

「ハウスランド社」は自由設計だからこそ、打ち合わせを進める中で間取りの変更やアレンジができる。「打ち合わせの期間を長く取って、本当に必要なことはなか?と突き詰めるプロセスが大事です。間取りも造りも検討を重ねることで、ご家族が心から満足する家が完成しますから」と、「ハウスランド社」の三上代表、Nさん夫妻も家族の環境や、自宅の優先順位を見直す機会がたびたび訪れ、その都度プロの視点からアドバイスをもらい、慎重に家づくりを進められたと語る。「一番時間がかかったのは間取り。叔母さまの茶室と家族の生活スペースの配置を試行錯誤し、最後はご主人自ら間取り図を引いてこだわりを貫き、「軒余曲に柔軟に対応してもらって、ハウスランド社さんには何回も助けられました」とご夫妻。

家族にとって大切なものとは  
その答え合わせができた!

